

公益財団法人金沢国際交流財団
平成28年度事業計画書
平成28年4月1日～平成29年3月31日

昨年春の北陸新幹線金沢開業以降、金沢を訪れる外国人は大幅に増加し、まちなかでその姿を見かける機会も顕著になってきているが、社会のグローバル化とともに、外国人市民も今後更に増加し、外国人市民を取り巻く地域におけるニーズも多様化をしていくものと考えられる。そのような状況のもとで、日本人市民と外国人市民が相互に言語、習慣、ものの考え方等の違いを理解し、尊重していくことの重要性がますます高まっていくと思われる。

当財団では、国際交流関係団体、大学、地域等と連携を図りつつ、市民各層を対象とした講座等を拡充することにより国際理解の促進に努めるとともに、日本人市民と外国人市民が相互理解に基づき、同じ地域社会の一員として交流を深め、安心して生活できる多文化共生の土壌づくりに向けた取組みを一層推進していく。また、引き続き、留学生の支援に努めるほか、国際交流ボランティアへの参画の促進を図っていく。

1. 国際理解事業

しいのき迎賓館を会場とする「国際交流まつり」では、地域に暮らす外国人市民・日本人市民の日常的な交流を生み出し、国際交流団体同士の協力関係が強化されるような事業を展開する。また、国際交流員や外国人市民を講師として各種講座を実施することにより、多彩な文化の紹介に努め、市民の国際理解の促進を図るほか、将来のグローバル人材の育成に資するための「体験型グローバルキッズ育成セミナー」を実施する。

2. 多文化共生事業

地域レベルでの多文化共生をより一層推進するため、新たに事業推進コーディネーターを配置し、杜の里・田上地区をモデル地域とした「多文化共生まちづくり」への取組みを拡充するなど、外国人市民への生活情報の提供や、外国籍の子どもの学習・進学を支援する。留学生関連では、国民健康保険料助成のほか、生活ガイダンス、ホームビジット等を実施する。

3. 団体等活動支援事業

民間国際交流団体の支援と連携強化のため定期的に連絡会を開催するほか、助成金を交付し、民間国際交流団体の活動を支援する。また、姉妹都市や国際交流団体等のネットワークを通じて言語や文化等の短期研修員を受け入れるとともに、多様なボランティアによる市民レベルの国際交流活動を推進するため、ボランティアの拡充に努める。

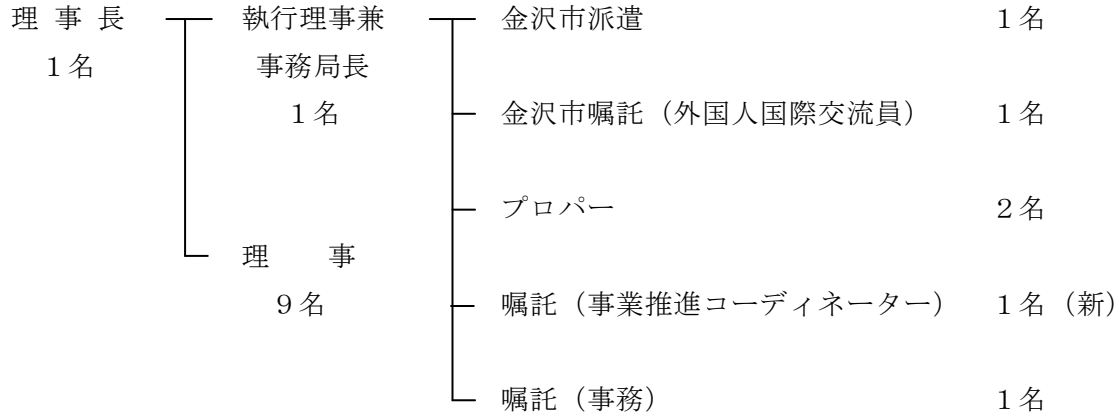
4. 情報サービス事業

地域の国際交流情報の収集発信のため、財団内「K I E Fひろば」の情報収集発信機能の充実を図るほか、財団機関紙やホームページ等を利用した情報発信に努める。また、財団前「本町交流スクエア」においては、様々な展示を行い民間国際交流団体の情報発信に寄与する。

組織図 (平成 28 年 4 月 1 日現在)

【評議員会】 評議員 5 名

【理事会】 理事 11 名



【監事】 監事 2 名

平成 28 年度 KIEF ボランティア活動予定者 180 名

通訳	日本語	文化紹介	ホームステイ・ビジット	情報発信支援	イベント運営
40	30	10	50	10	40

事業概要

【国際交流事業 (公 1)】

1. 国際理解事業

- (1) 国際交流まつり事業
- (2) 世界の文化紹介事業
- (3) 国際交流員活動事業

2. 多文化共生事業

- (1) 多文化共生まちづくり事業
- (2) 留学生支援事業

3. 団体等活動支援事業

- (1) 連携推進事業
- (2) ボランティア等育成事業

4. 情報サービス事業

- (1) 情報収集提供事業
- (2) 本町交流スクエア事業

1. 国際理解事業【予算】3,749千円

(1) 国際交流まつり事業

【予算】2,551千円



①国際交流まつり2016の開催

金沢に居ながらにして世界各国の人や文化とふれあうことができるイベントとして、多文化共生や国際交流の促進に向けた展示、ステージ等を行うとともに、国際交流関係団体間の連携促進を図る。

- ・日時：平成28年6月25日（土）～26日（日）
- ・会場：石川県政記念しいのき迎賓館

(2) 世界の文化紹介事業

【予算】737千円



(ワールドクッキング教室)



(シニアのための初級英会話講座)



(小学校訪問)

①国際理解講座の開催

国際交流員・外国人市民を講師として、それぞれの出身国や地域の文化、料理、言語等を広く紹介することにより、市民の国際理解の促進に資するとともに、留学生等の外国人市民に金沢の歴史、文化等に関わる様々な体験機会を提供することで、日本の文化と金沢のまちに対する理解と愛着を深める。

- ・文化紹介講座
- ・ワールドクッキング教室
- ・留学生等を対象とした金沢新発見体験ツアー
- ・英語コミュニケーション講座
- ・シニアのための初級英会話講座その他語学講座
- ・(新) 体験型グローバルキッズ育成事業
 - * 次世代を担う子どもたちを対象に、世界のものづくりや料理づくりの体験、遊び・ゲームなどの体験ができるプログラムを設け、国際感覚の養成に資する。(3回コース；英語で進行)

②国際交流員による国際理解活動

小中学校等への訪問による文化紹介、交流等を通じて、市民の国際理解の促進に資する。

- ・小中学校、地域団体、公民館等への派遣

(3) 国際交流員活動サポート事業

【予算】461千円

①国際交流員の技能向上

金沢市の国際交流員を自治体国際化協会等の実施する通訳・翻訳研修、日本語研修等に参加させ、技能向上を図る。

2. 多文化共生事業【予算】14,590千円

(1) 多文化共生まちづくり事業

【予算】1,490千円



(まちの日本語教室；ふらっと大桑)



(杜の里秋まつり)



(日本語教室「コスモス」学習活動支援)



(高校進学説明会)

①地域における多文化共生まちづくりの推進

金沢市内の大桑地区、田上地区をモデル地区に、町会や公民館、大学等と協働し、生活課題の解決や外国人市民と地域住民の理解と交流を深めるための諸事業を実施し、地域における多文化共生の促進を図るとともに、今後の外国人市民の増加を見据え、その支援体制の強化を図る。

- ・まちの日本語教室
- ・外国人市民の地域行事参加促進
- ・(新) 地域コミュニティ生活ガイダンス

* 外国人市民や地域が抱えている生活上の共通の悩み、疑問、困りごと等の状況を把握し、これらの課題解決に向けた助言や対応手法、関係機関等へのつなぎ方などを取りまとめた上で外国人市民向けの生活ガイダンスを実施

②外国籍の子どもサポート

外国人児童生徒の学習環境のサポートや、その保護者の生活支援等を行う。

1) 泉小学校日本語教室「コスモス」の学習活動支援

泉小学校に開設されている日本語教室「コスモス」に児童を通わせている保護者に対し、日本語指導、生活上のアドバイス等を行う。

2) 外国籍の子どもと保護者のための高校進学説明会

石川県内には外国人特別入試制度を設けている高校がなく、日本語の理解が不十分な子どもの高校進学が難しいことから、外国籍の子どもと保護者を対象とした高校進学説明会を実施する。

* 合格者による体験談の発表のほか、個別の相談にも対応する。

③外国人市民向け生活情報誌の作成配布

住民の視点で日常生活に役立つ情報を中心にした「生活ガイド」を作成配布する。

(2) 留学生支援事業

【予算】13,100 千円



(新規留学生の生活ガイダンス)



(留学生の金沢の歴史・文化体験)



(留学生のホームビジット体験)

①留学生国民健康保険料助成事業

金沢市内在住で国民健康保険料の7割減額措置を受けている私費留学生(約800名)の、国民健康保険料、介護保険料の本人負担分を助成し、留学生が安心して医療を受けられるよう支援する。

②新規留学生の生活ガイダンス

多数の留学生が在籍する金沢市内の大学に出向き、ゴミ処理、国民健康保険、防災対策等について、金沢市担当課と連携して、わかりやすく説明する。

③留学生の金沢の歴史・文化体験【再掲】

留学生に金沢の歴史や文化等に関わる様々な体験機会を提供することで、日本の文化と金沢のまちに対する理解と愛着を深める。

- ・金沢新発見体験ツアー
- ・地域のまつりやイベントへの参加促進 など

④留学生のためのホームビジットプログラム

主に新規留学生を対象に参加者を募集し、これらの留学生が日本人家庭を訪問することで、相互理解と市民レベルの国際交流の促進につなげる。

- ・実施時期：春と秋の2回

平成28年度は参加者枠を20名→40名に拡大

3. 団体等活動支援事業【予算】1,045千円

(1) 連携推進事業

【予算】1,045千円



(JICA北陸研修員とホストファミリー)



(姉妹都市からの短期研修員)

①市内国際交流関係団体とのネットワークの構築

1) 国際交流関係団体連絡会の開催

金沢市内の国際交流関係団体の情報交換、研修の場として国際交流関係団体連絡会を開催する。

- ・国際交流関係団体 83 団体

2) 活動支援助成金の交付

国際交流関係団体連絡会加盟団体の活動に対して助成金を交付しサポートする。

②関係団体との連携強化

1) 北陸都市国際交流連絡会への参加

北陸三県の都市の国際交流担当課（16 市）及び国際交流協会（13 団体）が加盟する連携推進、情報交換、課題解決に向けた研修会に参加する。

- ・連絡会：年 1 回（福井市で開催）

2) その他の団体との連携

- ・ J I C A 北陸の研修員ホームビジットの受入れ
- ・ 姉妹都市等からの短期研修員の受入れ（体験交流、ホームステイ）

③国際的人材の育成

各分野において将来の国際的人材を育成するため、教育機関等に財団職員を講師として派遣する。

- ・ 金沢大学
- ・ 金沢ボランティア大学校
- ・ 金沢医療センター附属金沢看護学校 等

(2) ボランティア等育成事業

【予算】全体の中で



(ボランティア募集説明会)

①国際交流ボランティアへの参画促進

当財団の事業をボランティアと協働して推進するため、募集方法や登録種別の拡充を図るほか、養成講座の開催、金沢ボランティア大学校との連携などを通じてボランティアへの参画を促進する。

- ・ ボランティア募集説明会の開催
- ・ 留学生、市内在住外国人等への参画呼びかけ
- ・ 登録種別に、従来の「イベント運営」、「日本語支援」、「ホームステイ・ビジット」、「通訳」に加え、「文化紹介」と「情報発信支援」を追加
- ・ (新) 通訳ボランティアの語学力向上講座等の実施

4. 情報サービス事業【予算】5,949千円

(1) 情報収集提供事業

【予算】5,720千円



(K I E Fニュース 日本語・英語版)



(財団ホームページ)

(2) 本町交流スクエア事業

【予算】229千円



(国際交流団体活動紹介パネル展)

① K I E Fひろばにおける情報の提供

当財団内交流スペースであるK I E Fひろばで、国際交流活動に関する様々な情報や、外国人市民の暮らしに役立つ多様な情報を提供する。

また、K I E Fひろばを活用したボランティアグループの活動の促進を図るほか、市民が気軽に参加できる自主企画を実施する。

- ・貸出用図書、CD等の購入

② 機関紙の発行

当財団や、市内の国際交流団体の活動状況等の情報を提供する機関紙「K I E Fニュース」を発行する。

- ・K I E Fニュース：年2回 日英各1,000部

③ 各種情報の発信

ホームページの充実を図るほか、フェイスブックなどのSNSを活用して、財団情報等の積極的な発信に努める。

① 多文化共生写真パネル展の開催

多様な文化背景を持つ外国人市民の姿やメッセージを写真パネル等で紹介し、市民が多文化共生について考える機会とする。

② 国際交流関係団体活動紹介パネル展の開催

金沢市内で活動している国際交流関係団体の日頃の活動状況を市民に広く紹介する。

公益財団法人金沢国際交流財団
平成28年度収支予算書（正味財産増減計算ベース）
平成28年4月1日～平成29年3月31日

(単位:千円)

科 目	平成28年度				平成27年度	増 減
	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合 計	合 計	
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	5	0	0	5	5	0
基本財産運用益	5	0	0	5	5	0
特定資産運用益	10	0	0	10	20	△ 10
国際交流基金運用益	10	0	0	10	20	△ 10
事業収益	2,252	0	0	2,252	2,163	89
国際交流事業収益	552	0	0	552	463	89
受託事業収益	1,700	0	0	1,700	1,700	0
受取補助金等	45,144	10,402	0	55,546	32,607	22,939
受取金沢市補助金	45,144	10,402	0	55,546	32,607	22,939
受取寄付金	0	0	0	0	17,246	△ 17,246
受取寄付金振替額	0	0	0	0	17,246	△ 17,246
経常収益計	47,411	10,402	0	57,813	52,041	5,772
(2) 経常費用						
事業費	47,411		0	47,411	41,314	6,097
給与手当	17,630		0	17,630	12,851	4,779
福利厚生費	4,448		0	4,448	3,544	904
会議費	0		0	0	3	△ 3
旅費交通費	1,129		0	1,129	850	279
通信運搬費	306		0	306	222	84
消耗品費	556		0	556	504	52
印刷製本費	1,582		0	1,582	892	690
賃借料	338		0	338	276	62
雑費	566		0	566	744	△ 178
委託費	1,989		0	1,989	1,800	189
諸謝金	231		0	231	731	△ 500
保険料	12		0	12	12	0
支払助成金	13,400		0	13,400	13,400	0
支払負担金	5,224		0	5,224	5,485	△ 261
管理費		10,402	0	10,402	10,727	△ 325
役員報酬		110	0	110	110	0
給与手当		4,378	0	4,378	4,409	△ 31
福利厚生費		529	0	529	548	△ 19
会議費		7	0	7	7	0
旅費交通費		88	0	88	72	16
通信運搬費		202	0	202	218	△ 16
消耗品費		90	0	90	95	△ 5
印刷製本費		62	0	62	65	△ 3
賃借料		1,037	0	1,037	1,130	△ 93
雑費		110	0	110	110	0
交際費		20	0	20	20	0
修繕費		10	0	10	10	0
諸謝金		276	0	276	276	0
支払負担金		3,483	0	3,483	3,657	△ 174
経常費用計	47,411	10,402	0	57,813	52,041	5,772
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	3,041	0	0	3,041	3,041	0
一般正味財産期末残高	3,041	0	0	3,041	3,041	0
II 指定正味財産増減の部						
基本財産運用益	5	0	0	5	5	0
国際交流基金運用益	10	0	0	10	20	△ 10
一般正味財産への振替額	△ 15	0	0	△ 15	△ 17,271	17,256
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	△ 17,246	17,246
指定正味財産期首残高	83,197	0	0	83,197	100,443	△ 17,246
指定正味財産期末残高	83,197	0	0	83,197	83,197	0
III 正味財産期末残高	86,238	0	0	86,238	86,238	0